

中学生のためのキャリア教育副読本「みらいスイッチ」 の活用にあたって

この副読本は、中学校3年間、そして卒業後の未来を見通して、子どもたちの社会的・職業的自立に向け、一人一人が学ぶこと、働くこと、生きることについて主体的に考えられるように作成しました。

また、学校での学びが社会とどのようにつながっているのか、学ぶことの本質的な意義について知り、自分らしい生き方につなげる内容となっています。

本冊子は、様々な教科等で活用できるよう、各分野のページには「各教科等での学習ワンポイントアドバイス」を掲載しています。ぜひ、子どもたちの社会的・職業的自立に向けて基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育の充実のためにお役立てください。

活用例の紹介

特別活動の時間に

- 学級活動の時間に「みらいスイッチ」に触れながら、人はなぜ学ぶのか、なぜ働くのか、将来の生き方について考え、意見を交流する。
- 職場体験学習を深めるために、活動前や活動後に「みらいスイッチ」を読み、働くことや職業について考えを深めたり広げたりする。

総合的な学習の時間に

- いろいろな職業について調べて報告する。
- いろいろな職業にかかわる人の思い、願いなどを考えてみる。
- 体験活動を行う際の事前の学習、活動後の振り返りに役立てる。

各教科等の時間に

- 各分野で紹介している「各教科等での学習ワンポイントアドバイス」を参考にして単元構成を見直したり、授業の導入・展開・まとめなどの場面で必要な内容を効果的に取り入れる。
- 英語の自分の町や日本の文化を紹介する単元で、「みらいスイッチ」を使って、新しく着任したALTに高知県のことについて紹介する。
- 道徳の内容項目に応じて、導入や終末に説話として活用する。
- 課題解決のために、「調べ学習を始めよう！」や掲載されているデータを活用する。

留意事項

- 副読本は、中学校の3年間を通じて使用するものです。記名をさせ、大切に保管するようご指導ください。
- 生徒に配付する際には、活用の仕方について十分説明を行ってください。